

やる気は後からついてくる

クリスマスおめでとうございます。年末にあたり、この「Sense of Mission」の軌跡をたどってみると、教育的な内容を書いているのはもちろんなのですが、特に、みなさんの“これから”に少しでも役立つものになればいいと思いながら書いていることがほとんどであることに気づきます。そして、なぜ発信し続けているかと言えば、みなさんや先生方に成長の種を植える数少ないチャンスだと思っているからです。ちなみに、私から先生方に発信している「校長研修だより」というものもあります。この「Sense of Mission」、朝の礼拝の時の「校長講話」、すべて学校 HP の「学校長メッセージ」で読むことができます。

さて、AIなどの技術革新によって、これから先、多くの仕事が機械に代替されると言われています。これまでの価値観が変わり、自分たちの将来像を確実にイメージすることが難しい時代になっています。そこで、今の学校教育をみなさんの将来に役立つものにするためには、何を大切にしていけばよいかを考えると、イメージしてもらいたいのは、小学校、中学校くらいまでに学んだ「人としてのスキル」になると思います。たとえば、友だちをつくる、先輩とうまく付き合う、自分の意見を伝える、相手を尊重する・・・このような「人としてのスキル」は、これから大きく変化する社会を生きる上でも必要不可欠であり、その後の人生でも長く使うとても重要なものだと考えます。

みなさん、1、2 学期は、充実した学校生活を送れましたか？学校行事、学年行事、部活動の大会、文化部の発表会等・・・このような活動は、「成功の循環」のサイクルを体験的に学ぶことができます。「成功の循環」とは、『**関係の質が高まると思考の質が高まる。そして、思考の質が高まると行動が積極的になり、行動の質が高まる。それが継続されると、当然、結果の質が高まる**』という因果関係のことです。だから、まずは「関係の質を高める」ことが大事で、つまり日頃からの仲間とのコミュニケーションはとても大切になるのです。

この3 学期は、次の学年への「0 学期」という考えもできます。そう考えて行動することで、いい準備をすることができます。特に受験に向かうときはこの考えで、先手必勝ということになります。このような考え方は、やる気のつくり方を学ぶ機会になります。

では、この“やる気”についてお話しします。

人は、やる気がなくても、やると決心することができるし、やる気がなくても全力でやることができます。人とは、そういう不思議な生き物です。だから、みなさん、何事もとりあえず、やると決めて、全力で走ってみたらいいと思います。全力で取り組んでみたらいいと思います。やる気なんて、後からついてきます。時々、やる気にならないと嘆く生徒がいます。確かに、やる気はないより、あった方がいいと思います。しかし、なくても困りません。とにかく、行動したとき、何が見えたか、何がわかったか、頭でなく体でつかんだものは何か、そのつかんだものを手放さないようにすることが大切です。そのつかんだもので、次の機会では、楽しみや感動をつかみ取りに行っていきたいです。『やる気は後からついてくる』。これは、「行動が心を変える」という法則の応用だと思ってください。実は、この「やる気は後からついてくる」という言葉は、私の座右の銘でもあります。

（学校長 重枝 一郎）